

## KE1500III(クラムシェル仕様)フリーフォール、ウィンチドラムブレーキバンドの

### 作業開始前点検について

弊社が製造販売する KE-1500III(クラムシェル仕様)のウィンチドラムブレーキに関して、下図点検口からの目視による作業開始前点検をお願い致します。

下記の KE-1500IIIの取扱説明書 P172 を参考に状況に応じて調整又はライニングの交換をお願い致します。

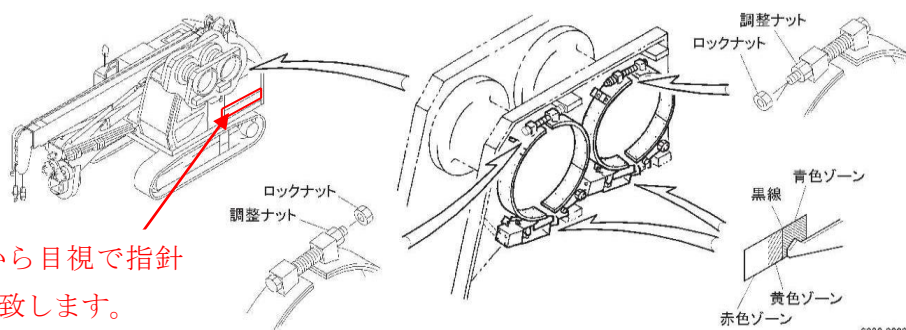
#### 4-6-4 ドラムブレーキの調整 (T214792-025-0J)

指針(赤色)が黒線上もしくは黄色ゾーン以内にあるときは正常です。

指針が赤色ゾーン内にあるときはライニングが摩耗しているかまたは調整不良ですので、この状態での掘削作業は絶対に行わないでください。

ライニングの厚さ (最も摩耗した部分を測定)	対 応	注 意 事 項
5.0mm未満	ライニングを交換する。	交換後、ライニングの慣らし運転が必要
5.0mm以上	調整ナットにより、指針(赤色)が黒線の位置にくるまで調整する。	指針が青色ゾーン内を指すと、締め過ぎになり危険なので必ず黒線に合わせることを。

(T214792-026-0J)



赤枠の点検口から目視で指針の確認をお願い致します。

#### (1) ドラムブレーキの点検手順

- ライニングの外観に異常摩耗や傷、水やグリースが付着していないことを確認します。
- ウィンチドラム下方の指針でライニングの摩耗状態を確認します。
- 赤い指針が黒線上にある場合は正常です。
- 赤い指針が青色ゾーンにあるときはライニングの締め過ぎです。  
調整ナットを緩めてください。
- 赤い指針が黄色ゾーンにあるときは摩耗が始まっていますので注意が必要です。
- 赤い指針が赤色ゾーンにあるときはライニングが摩耗しているか調整不良ですので、ただちに掘削作業を中止してライニングの調整を行ってください。

#### (2) ドラムブレーキの調整手順

- ライニングの最も摩耗したところが5.0mm未満の場合はライニングを交換してください。ライニング交換後は慣らし運転を行ってください。
- ライニングの最も摩耗したところが5.0mm以上ある場合は、赤い指針が黒線上に来るよう調整してください。  
インジケータの指針 ⇨ 青色ゾーン → ライニングの締め過ぎ。  
調整ナットを緩める。  
インジケータの指針 ⇨ 赤色ゾーン → ライニングが摩耗している。  
調整ナットを締める。

#### (3) ドラムブレーキの点検・調整時期

- ドラムブレーキの点検時期 … 毎日  
 ドラムブレーキの調整時期 … 不具合時